

(1) 幼児の姿と教師の願い

※幼児の姿については省略

- 集団の中での話を聞く態度や，約束事をみんなで確認しながら，身に付くようにしていきたい。
- 幼児が年少児とかかわりやすいように，教師も一緒に声をかけながら援助していきたい。また，年下の友達と触れ合う中で，優しさや思いやりの心が育ち，年長児としての自覚や喜び，自信がもてるようにしていきたい。
- それぞれの思いを出し合って，遊びや友達関係が深まるように，教師が幼児の言葉を引き出したり，言葉でのやりとりができるような環境を作ったりしていきたい。

(2) ねらいと内容

- 友達と一緒に思いを伝え合いながら好きな遊びを楽しむ。
 - ・ 自分の思ったことや考えたことを友達に伝えたり，相手の思いに気付いたりする。
 - ・ 友達と同じイメージで遊びを楽しむ。

(3) 活動の内容（別紙）

(4) 評価の観点

- 自分の思いを伝えたり，相手の思いに気付いたりしながら，友達と一緒に楽しく遊ぶことができていたか。
- 幼児一人一人が自分の思いを出し，友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わえるような援助ができていたか。

(3) 活動の内容

自ら選んだ遊び

- ① 砂場で遊ぼう
- ② 粘土で遊ぼう
- ③ リズム遊びをしよう
- ④ シャボン玉で遊ぼう
- ⑤ 体を動かして遊ぼう
- ⑥ 自然物で遊ぼう
- ⑦ 一輪車で遊ぼう

